



共通のテナント タスク

- [共通のテナント タスク \(1 ページ\)](#)

共通のテナント タスク

テナントの概要

- テナントには、承認されたユーザのドメインベースのアクセスコントロールをイネーブルにするポリシーが含まれます。承認されたユーザは、テナント管理やネットワーク管理などの権限にアクセスできます。
- ユーザは、ドメイン内のポリシーにアクセスしたりポリシーを設定するには読み取り/書き込み権限が必要です。テナントユーザは、1つ以上のドメインに特定の権限を持つことができます。
- マルチテナント環境では、リソースがそれぞれ分離されるように、テナントによりグループユーザのアクセス権限が提供されます(エンドポイントグループやネットワークなどのため)。これらの権限では、異なるユーザが異なるテナントを管理することもできます。

テナントの作成

テナントには、最初にテナントを作成した後に作成できるフィルタ、契約、ブリッジドメイン、およびアプリケーションプロファイルなどのプライマリ要素が含まれます。

テナントの追加

テナントは仮想ファブリック内のポリシー所有者です。テナントは、プライベートエンティティまたは共有エンティティにすることができます。たとえば、安全に分割されたプライベートテナントまたは他のテナントにより共有されるコンテキストおよびブリッジドメインを持つテナントを作成できます。テナントの共有タイプは通常、`common`、`default`または`infra`という名前が付いています。

管理情報モデルでは、テナントはクラス `fv:Tenant` の管理対象オブジェクト (MO) で表されます。『Cisco APIC Management Information Model Reference』に従って、`fv:Tenant` クラスのオブジェクトはポリシー解決のユニバース (`uni`) クラスの子で、`uni/tn-[name]` の識別名 (DN) 形式を持っています。



(注) 1 度に追加できるテナントは 1 つだけです。

次の例に、XML および JSON を使用して `ExampleCorp` という名前の新しいテナントを追加する方法を示します。

例：JSON API を使用したテナントの追加

新しいテナントを作成するには、メッセージの本文または URI でクラスと十分な命名情報を指定する必要があります。

JSON API を使用して新しいテナントを作成するには、次の HTTP POST メッセージを送信します。

```
POST https://apic-ip-address/api/mo/uni.json
```

```
{
  "fvTenant" : {
    "attributes" : {
      "name" : "ExampleCorp"
    }
  }
}
```

または、次の例のように URI でテナントに名前を付けることができます。

```
POST https://apic-ip-address/api/mo/uni/tn-ExampleCorp.json
```

```
{
  "fvTenant" : {
    "attributes" : {
    }
  }
}
```

(`?rsp-subtree=modified` を POST URI に追加することで) 応答が要求された場合は、成功した操作により次の応答本文が返されます。

```
{
  "imdata" :
  [{
    "fvTenant" : {
      "attributes" : {
        "instanceId" : "0:0",
        "childAction" : "deleteNonPresent",
        "dn" : "uni/tn-ExampleCorp",
        "lcOwn" : "local",
```

```
        "name" : "ExampleCorp",
        "replTs" : "never",
        "rn" : "",
        "status" : "created"
      }
    }
  ]
}
```

テナントを削除するには、次の HTTP DELETE メッセージを送信します。

```
DELETE https://apic-ip-address/api/mo/uni/tn-ExampleCorp.json
```

または、次の例のように、`fv:Tenant` 属性内に十分な命名情報と `"status" : "deleted"` が含まれる HTTP POST メッセージを送信できます。

```
POST https://apic-ip-address/api/mo/uni.json
{
  "fvTenant" : {
    "attributes" : {
      "name" : "ExampleCorp",
      "status" : "deleted"
    }
  }
}
```

例：XML API を使用したテナントの追加

新しいテナントを作成するには、メッセージの本文または URI でクラスと十分な命名情報を指定する必要があります。

XML API を使用して `ExampleCorp` という名前の新しいテナントを作成するには、次の HTTP POST メッセージを送信します。

```
POST https://apic-ip-address/api/mo/uni.xml
<fvTenant name="ExampleCorp"/>
```

または、次の例のように URI でテナントに名前を付けることができます。

```
POST https://apic-ip-address/api/mo/uni/tn-ExampleCorp.xml
<fvTenant />
```

(`?rsp-subtree=modified` を POST URI に追加することで) 応答が要求された場合は、成功した操作により次の応答本文が返されます。

```
<imdata>
  <fvTenant
    instanceId="0:0"
```

```
childAction="deleteNonPresent"  
dn="uni/tn-ExampleCorp"  
lcOwn="local"  
name="ExampleCorp"  
replTs="never"  
rn=""  
status="created"  
/>  
</imdata>
```

テナントを削除するには、次の HTTP DELETE メッセージを送信します。

```
DELETE https://apic-ip-address/api/mo/uni/tn-ExampleCorp.xml
```

または、次の例のように、`fv:Tenant` 属性内に十分な命名情報と `status="deleted"` が含まれる HTTP POST メッセージを送信できます。

```
POST https://apic-ip-address/api/mo/uni.xml  
<fvTenant name="ExampleCorp" status="deleted"/>
```